

第五列聖格先

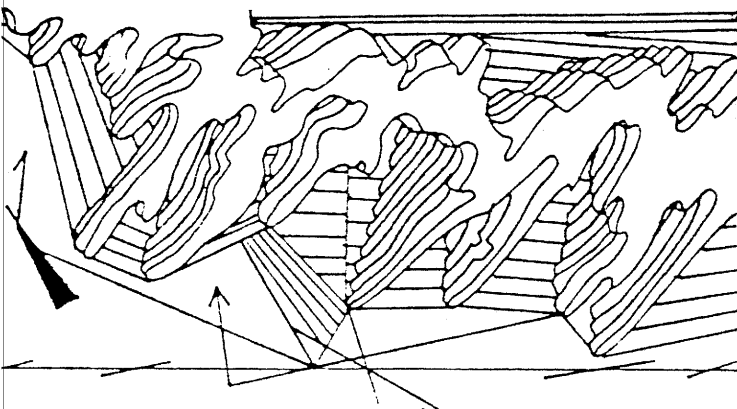
〒020 盛岡市中野1-10-31 金野吉晃

0196-52-4673

〒166 杉並区京町寺南4-34-22 (高坂町)

TEL: 03-318-2298 藤本 和男

SC-10
OMEDEATIONS / Contemporary Elec-
tric Music Not Written or Compos-
ed But Played by S. Nakatsuvo...



Seitchi
Nakatsuvo

OMEDEATIONS
SC-10

Side A: ^{1st} Summer Time '79

Side B: ^{2nd} 31th of February Dancing.

^{3rd} The End of the Hiccup.
^{4th} Music for Meditation.

Side A: recording at Hokuten Garô Morioka,
^{5th} 8/13 '79 (during "5th Column Week")

Side B: B-1 & B-2 recorded at Nakatsuvo's room
B-3 → Negative. rerecorded by '79
ONNYK.

演奏者の、演奏者による、演奏者の為のメモ。より。

OMEDETATIONS / SEIICHI NAKATSUVO SOLO VOLUME 2.

Side A-1 "SUMMER TIME '79"

これはライブである。特にライブである必要は無いが、たのびが必然性よりも必要性が重視された演奏と言えるだろう。1979年の夏の屋下り。涼を求め人々の為に演奏されたサロン・ミュージックである。

60分テープの片面に単音のみで、てねらめなメロディーが録音される。次に、それをフレイバックしながら、対旋律をもう一本のテープに収め、それぞれのコセン・テープを一本ずつ作る。ここに4本のテープが出現する。と、4台のテープレコーダーが必要になる。金と手間がかかる... に際して、必要な機材と手間があったのでライブが可能となった。

メーカーも性能も異なる4台のテープレコーダーが自然なほど、4のすれを起こして、手軽な不協和音を演奏してくる筈でありしたが、これではいけない、何か足りない...。やはり自ら手を下し参加してこそ「意味ありげ」になる。と反省しないまま、当日のぶっつけ本番となった。演奏中は周囲の音量が大きすぎて、自分の出している音があまり聴こえなかったりして、その後、野となり、山となったりしている。

約30分には、一見緊張感に満ちた演奏のようであったが、当の本人である私は、10分でも早く帰って氷を食いたい衝動と相対しながらの30分は長かったと席上で語ったが、真意のほどは計り知れない。の女であった。

•この録音は1979年8月13日、盛岡市「北窓画廊」において「第五列週間」(8月9日~15日)のイベントのひとつとして、中坪氏のソロパフォーマンスを行った時のライブ録音です。聴衆は約10名程でした。(月曜日の午後1:30より行、た為、関係者が殆んどでした。)この演奏の一部は「5C-07 5th Columnists in the Gallery / 5th-Column Week Live.」にも収録されました。(Onnyk記)

Side B-1 "THE 31ST OF FEBRUARY DANCING"

この曲は祝典用行進曲として音楽史上に名を残すべく十二分な文献及び糧ある書物の教示に示された教義に基づく、最も美味なる部分を広く大衆に啓蒙する慈義の為の献身的行為であった。或いは、リズムホリスとの幸福な出会いが産んだ偶然の佳作であるかは聴き手が決めるとして、演奏者は前者の如く

思われたいと望んでいたようなが、今日までこの作品を聴いた数少ない人々の反応からして後者の線を描き出す方があたりさわりが無いだろうと考えながら反発しているようである。

Side B-2 "THE END OF THE HICCUP."

さて、今日のテープの最後は非常にヘウレーなたたすまいを秘めて、下方より響き上る至上の福音である。ここに及んで演奏者は何も試みる必要はなく、たのび企んでいるだけである。

スピーカーから流れる調べは、厚くモッタリと花道を出る千両役者のようである。全曲を通じて聴かれる最低音のCの音こそ、定石のきわめつけパターンと言うべきもので、あまたのロック愛好家からより望むスペクタクル映画の見せ場をひかえた興奮にも等しく、迫り来る歓喜を体験させる為、古来より伝えられた手頃なオープニングとして重宝なモノである。しかも中間からラストにあっても実にクラシカルな様式に従った展開が好事家の心をとめかすべく用意されている。

これ程までに安通にして実りある成果を上げた例は〇〇〇〇以来と世評も高く、既成品としての仕立ても良く、各界のロック愛好家並びに好事家諸氏の感涙を招く姿が目に見えようである。そして、曲の最後の音が消えた後に続く空白の十数分こそが、今日のテープにおける最大の見せ場である事も想像にかたくない。と、広言してはばからぬから喧嘩だろう。などと語っている間に夜は朝を伴に従え風を迎えた。

Side B-3 "MUSIC FOR MEDITATION."

以上 中坪記 1980年1月。盛岡にて。
ORIGINAL PERFORMANCES BY NAKATSUVO
EDITION OF MASTER TAPE BY ONNYK.
NOTE WRITTEN BY NAKATSUVO
RE-WRITTEN BY ONNYK

in preparation... "Partial Accidents." / NO-DUO

NO-DUO = NAKATSUVO + ONNYK

cf. 5C-03: SOUNDTRACKS FROM THE IMAGINARY FILM / NAKATSUVO SOLOS 1

